

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
柏原市	柏原市	H28年度～R2年度	H28年度～R2年度

1 目標の達成状況
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	71,836人	70,881人	68,066人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	53,249人 74.2%	56,664人 79.9%	54,370人 79.9%	100.00%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	9,289人 12.9%	7,278人 10.3%	7,847人 11.5%	53.85%
未処理人口	汚水衛生未処理人口 汚水衛生未処理率又は汚水未処理率	9,298人 12.9%	6,939人 9.8%	5,849人 8.6%	138.71%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績		
処理施設 の整備に 関するもの	1	合併処理浄化槽整備	柏原市	【浄化槽設置整備事業】 下水道整備が当分の間(概ね7年)見込まれない地域を対象に10人槽以下の合併処理浄化槽設置者に設置に要する費用を助成する。	H28～R2	年度	計画基数	実施基数
				H28		3基	0基	
						H29	3基	1基
						H30	3基	1基
						H31	3基	1基
						R2	3基	1基
						合計	15基	4基
				【公共浄化槽等整備推進事業】 浄化槽処理促進区域を対象にPFI方式により合併処理浄化槽を設置する。		年度	計画基数	実施基数
						H28	10基	10基
						H29	10基	6基
						H30	10基	5基
						H31	10基	3基
						R2	10基	7基
						合計	50基	31基

3 目標の達成状況に関する評価

今期の事業実績は、浄化槽設置整備事業が計画目標 15 基に対し 4 基の設置。公共浄化槽等整備推進事業が計画目標 50 基に対し 31 基の整備であり、計画に掲げた目標は未達成であった。

その要因として、浄化槽整備区域（浄化槽処理促進区域等）において世帯数・人口の減少により整備対象数が減少してきていること、地域の高齢住民において、宅内での大々的な工事を必要とするイメージが先行し、浄化槽の設置を敬遠するケース等、ニーズが低下傾向にあること等の点が考えられた。

市全体での汚水衛生処理率は 91.4% となり、平成 26 年度から 4.3% 上昇。生活排水処理施設の着実な整備と共に未処理人口は減少してきている。

○合併処理浄化槽処理人口 …… 計画目標：7,278 人（汚水衛生処理率 10.3%）、実績：7,847 人（汚水衛生処理率 11.5%）

○汚水未処理人口 …… 計画目標：6,939 人（未処理率 9.8%）、実績：5,849 人（未処理率 8.6%）と減少

引き続き、生活排水対策の必要性や合併処理浄化槽整備の有効性・利便性をホームページや広報誌等を通じて市民への周知に努め、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業及び公共浄化槽等整備推進事業（PFI方式）を進めていくことで、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善のため、汚水未処理人口の減少に努めて参りたい。

（都道府県知事の所見）

柏原市の生活排水処理状況については、汚水衛生処理率及び未処理人口の目標は達成している。

循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業及び公共浄化槽等整備推進事業による合併処理浄化槽整備基数は計画を下回ったものの、一定、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与したと考える。また、実績が計画を下回った要因を分析し、かつ次年度以降の方針も記載されている。

今後も引き続き、効率的かつ効果的な生活排水処理施設の整備を推進してもらいたい。